

社長、その仕事。 本当に社長がやる必要があります か？

人が頑張らなくても、
仕組みで会社が回る状態へ。

人と仕組みの伴走支援

株式会社ワン・ストーリー



売上が伸びるほど、会社が忙しくなっていませんか？

社長への確認が増える

ベテランに仕事が集中

人を増やしても忙しい

Excelが増え続ける

情報があちこちに散らばる

『あの資料どこ？』が日常

同じ情報を何度も入力

新人教育が毎回ゼロから

システム追加で複雑化

社長が現場から離れられない

忙しさの正体

人が足りない？
能力が足りない？

その前に

『仕組み』を疑う

それは「人」の問題ではなく、
「仕組み」の問題かもしれません。

経営者が知らないところで、小さな「困った」が積み重なっています。

経営者は全体を見る。現場は毎日の小さな不便を抱える。
その間に、見えにくいギャップが生まれます。

経営者から見える会社

売上

利益

人材

顧客

経営

見えにく
い
ギャップ

現場で起きていること

二度手間

探す

確認

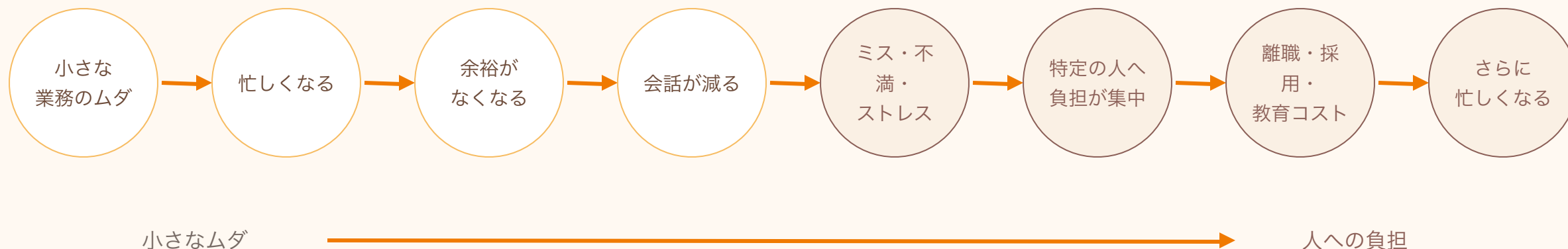
属人化

入力

情報分散

「昔からこうだから」「仕事だから仕方ない」が、改善のサインを隠します。

小さなムダは、やがて「人」の問題になります。

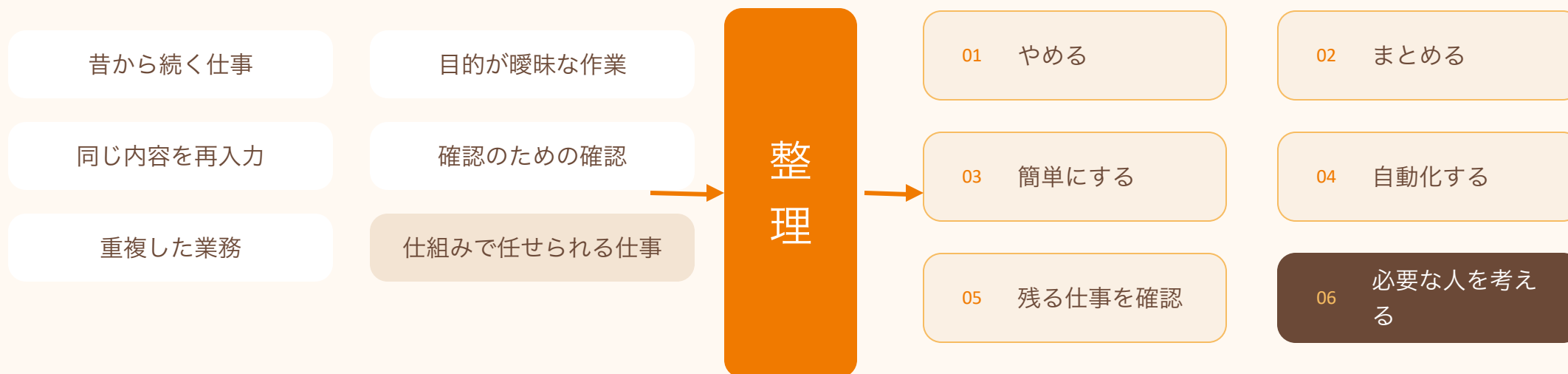


業務の問題と、人の問題はつながっています。

だからこそ、負担が大きくなる前に、仕事の流れを整える。

「人が足りない」の前に、「仕事が多すぎないか」を見る。

忙しい状態のまま採用すると、ムダな仕事まで人で支えることがあります。



人を増やす前に、仕事を減らす。

本当に必要な仕事を整理してから、人を活かす。

システムを増やすほど、仕事が複雑になっていませんか？

顧客管理 A

勤怠 B

チャット C

申込 D

Excel

紙

LINE

結局、
どこを見れば
いいの？

便利なツールも、会社全体を見ずに足すと、新しい入力・確認・探す仕事を生むことがあります。

増やす前に、つなぎ方を考える。

だから、私たちは「システム」から入りません。

- 01 ——— まず、会社を知る。
- 02 ——— 次に、業務を整理する。
- 03 ——— その後に、必要な仕組みを考える。

選択肢は、
ひとつではない。

既存サービス

AI

独自開発

作らない

御社に本当に必要なものから考えます。

現場に入り、まだ言葉になっていない問題から見つけます。

経営者



管理職



現場スタッフ



ヒアリングで確かめること

- 誰が、何をしているか
- どこで時間がかかるか
- 何が二度手間か
- 誰しかできない仕事か
- 情報はどこにあるか
- 本当はどう働きたいか

業務

×

そこで働く人

両方を見る

問題の奥にある、負担と願いまで見つけます。

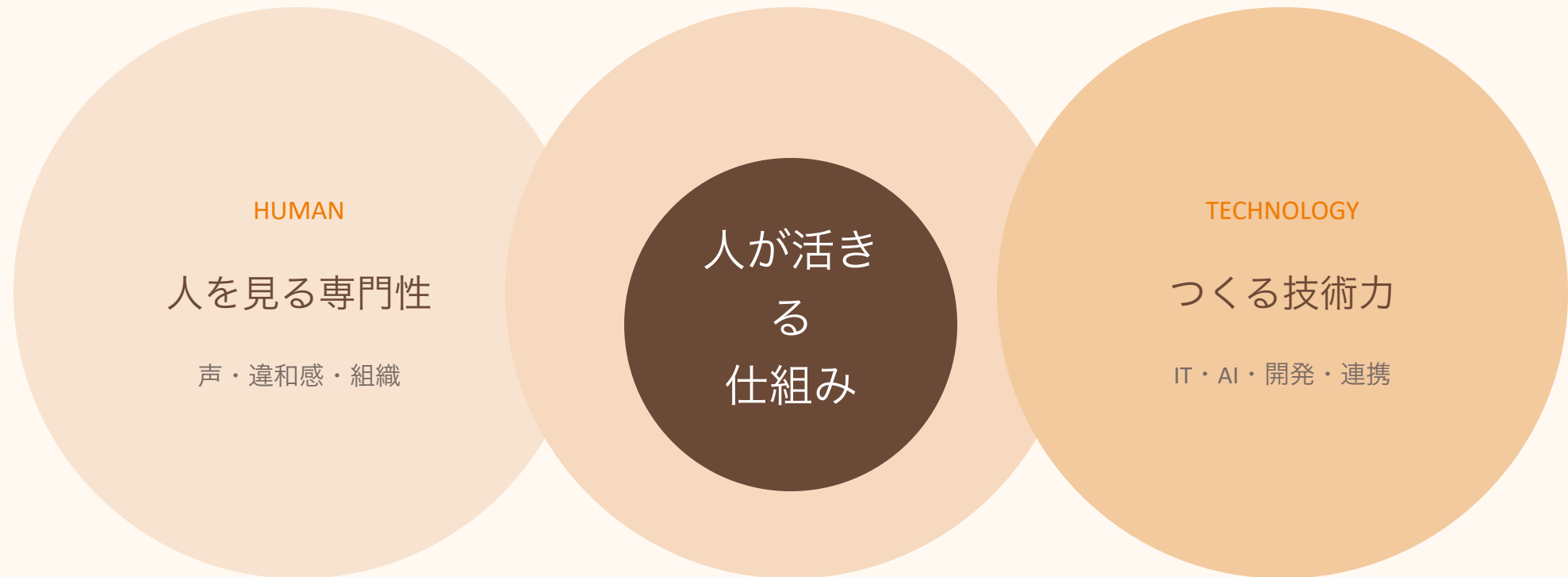
なぜ、ワン・ストーリーなのか。

- 01 経営者だけでなく、現場を見る
まだ気づかれていない課題まで拾う
- 02 業務整理だけで終わらない
改善からIT・AI・開発まで一貫
- 03 既製品を売ることが目的ではない
本当に必要なものだけを選ぶ
- 04 導入して終わらない
教育・マニュアル・運用まで支援
- 05 最終的には、私たちへの依存もなくす
自社で改善できる力を育てる



すべてを一緒にできることが、私たちの強みです。

「人」「業務」「技術」を、ひとつにつなぐ。



人を置き去りにしない。技術だけに寄りかからない。

システムでは拾えない問題があります。



人と組織を見る 専門家

カウンセリング・講師活動で培った
『言葉にならない負担を拾う力』

- 本人も言葉にできていない負担
- 経営者とスタッフの認識差
- 当たり前になった違和感
- 人間関係と業務問題の切り分け
- 一人ひとりの強み

人の問題を、すべて『人のせい』にしない。

仕組みの問題を、すべて『システム』で解決しない。

複雑な業務を「整理し、仕組みにする」経験。

楽天証券

事業部立て直し・新規事業

UFJ信託銀行

不動産業務整理

SBIレミット

社内業務再構築

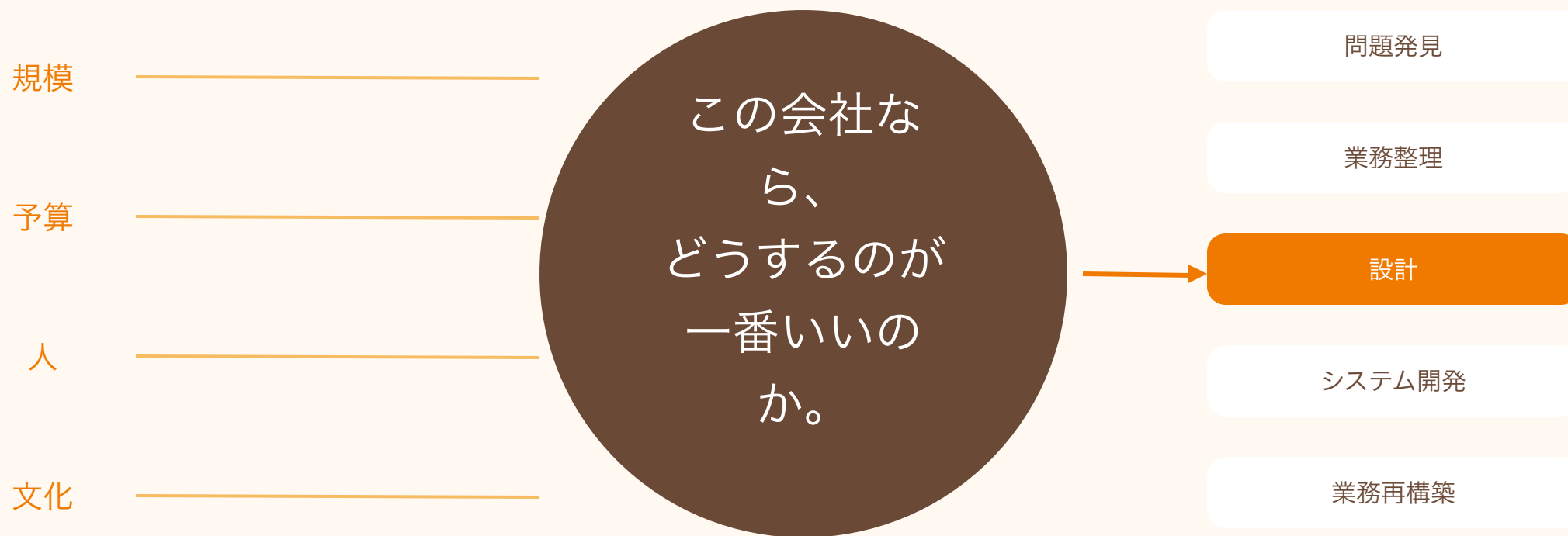
商船三井

新規システム開発・業務再構築

金融・不動産・送金・物流など、複雑な業務を持つ企業での支援経験。

大手企業で培った知見を、それぞれの会社に合った仕組みへ。

大手企業の仕組みを、そのまま持ち込むわけではありません。



知見を、シンプルに落とし込む

必要なところから、必要な分だけ。

業務・仕組み

- － 現場ヒアリング
- － 業務棚卸し・フロー整理
- － 属人化解消
- － 情報一元化
- － マニュアル・チェックリスト

IT・AI

- － AI活用・業務自動化
- － システム選定・連携
- － オーダーメイド開発
- － データベース構築

人・組織

- － 役割整理
- － 社内コミュニケーション
- － 社員教育・システム定着
- － 運用ルール設計

経営

- － 定期ミーティング
- － 課題・優先順位整理
- － 経営者の役割整理
- － 未来を考える環境づくり

課題に合わせて、4つの領域を横断します。

作って終わらない。会社に根づくまで、一緒に。



GOAL

私たちがいなくても、会社が自分たちで回る状態
へ。
仕組みを使い、現場で改善を続けられる。

例えば、こんな会社を目指します。

※以下は実績数値ではなく、目指す状態の例です。

BEFORE

社長への確認が集中

ベテランしか分らない

情報がバラバラ

入力・確認・探す仕事が多い

社長が現場から離れられない

AFTER

判断基準が共有され、現場で進められる

誰でも引き継げる

必要な情報へ迷わずアクセス

考える・創る・向き合う時間が増える

社長が未来を考える時間を持てる

人が仕事を支える会社から、仕組みが人を支える会社へ。

社長の時間を、「今日」から「未来」へ。

今日を回す仕事

確認・承認

トラブル対応

情報探し

細かな判断

現場フォロー

仕組みを整える

未来を創る仕事

経営判断

人を育てる

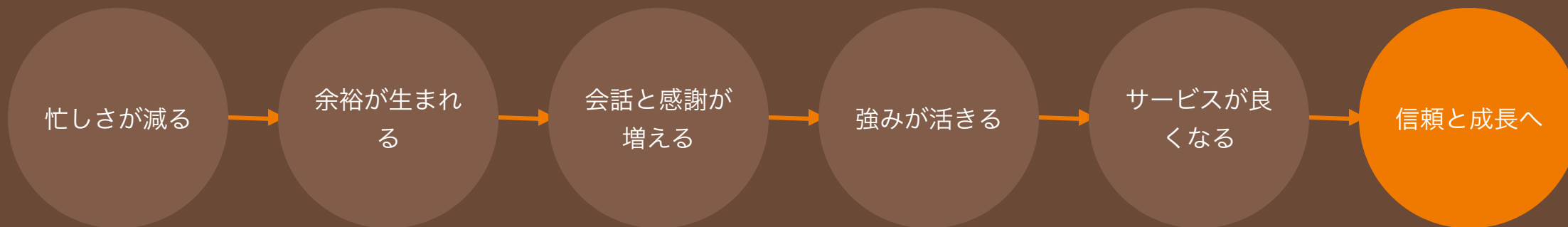
新規事業

顧客との関係

会社の方向性・可能性

本来、経営者にしかできない仕事へ。

働く人が、笑顔で家に帰れる会社を増やしたい。



会社で生まれた笑顔は、家族へ、次の世代へ広がっていく。

「働くって、いいものかもしれない。」

それが、私たちが会社を整える理由です。

まず、御社の「困った」を聞かせてください。

何を改善すればいいか、ITが必要か、まだ分からなくても構いません。
まずは『今、会社の中で何が起きているのか』を一緒に整理します。

人を整える。

仕組みを整える。

未来を整える。

会社が、自分たちの力で回る状態へ。

まずは、会社の現状について
ご相談ください。

個別相談・現場ヒアリングから

株式会社ワン・ストーリー

